

を勝ち取るための組合費が、逆に我々の生活を苦しめることにならないよう、組合費の値上げは慎重な議論と、組合員の理解を十分に得られるようなコスト削減が必要だ。

小倉運転区には、3月より6名の女性組合員が仲間に加わり、今後も増えていくことが予想される。女性の配属に伴い、職場内の設備が新設されたが、トイレの衛生面など、改善すべき点があるとの意見が出された。また、乗務線区において、女性用の宿泊所が整備されていない箇所が多く、その都度勤務変更が発生するなど、問題が発生している。女性乗務員の宿泊所設置に対して、会社の考えを明らかにさせるべきだ。

このような女性特有の問題は、私たち男性には分かりにくく、気付かない面もある。男女平等参画を推進していくうえで、女性の意見を聞き入れ、問題を調査し、要求化していくことが大切である。

モニター制度の見直しを

田中 豊 (新幹線乗務所)



田中代議員

九州新幹線が全線開業して、新しいモニター制度が確立されたが、現行の制度では転勤に伴う異動など、認定に制約があるため、希望する地区に住宅を購入

できないなど、問題が多い。会社には株式市場に相応しい労働条件の確立や各種制度の充実など、幅広い対応が求められる。モニター制度の見直しを強く求める。

新幹線車掌の受験資格が変更となったが、在来線車掌の経験を積んで、新幹線車掌へ挑戦したい社員を道を開きたい。現場では不満の声が挙がっている。多くの在来線車掌が新幹線車掌を目標とし、希望を持てるような働きがいのあるJR九州をつくっていくべきだ。

分会役員体制の確立を

片山 伸也 (新大牟田駅)



片山代議員

6月の参議院選挙は、納得のいく活動ができず苦慮した。今後、分会役員が減少していくなかで、9月の支部結成、2年後の統一地方選の対応など、地本に幅広い対応を求めるとともに、分会としても役員育成に努めていきたい。

適正な要員配置を

望月 貴志 (筑前前原駅)

筑前前原駅ではダイヤ改正以降、要員減となり、特休・公休も消化できている状況となっている。また、1人で出札、改札をはじめ、遺失物や車いすのお客



望月代議員

さまへの対応など、4時間余り担当することもあることから、お客さまへの対応が満足できないなど、お客さまから苦情をいただくことも多い。適切な要員の配置を強く求める。

新入社員の配属に伴い、現行の要員では、新入社員の教育も満足できない状況だ。また、見習期間が終了したからと言って、すぐに窓口で対応ができるわけではなく、十分な教育期間が必要である。

ピートルブランドを守る

井本 敏 (船舶)



井本代議員

JR九州高速船では、会社の経営状況の悪化から、船を1隻上り、要員の見直しが行われた。組合員も会社の現状を理解し、頑張っているが、このままの状況では3期連続の赤字となる見込みだ。しかし、どんな状況であろうと、我々は絶対にピートルブランドを守りに取り組む。組合員のみならず、JR九州高速船の厳しい現状を知っていただき、ピートルの利用促進を是非ともお願いしたい。

新しい組織体制で求心力を高めよう

田頭書記長集約答弁【要旨】



田頭書記長

経過報告、運動方針(案)について13名の代議員から、積極的に討論していただいた。福岡地本も、提起のあった意見のなかで会社と整理を図るものについて直ちに対応をしたい。

安全最優先の風土作りについて

2005年4月25日に発生した福岡山線脱線事故。今年、JR九州労組の取り組みで献花をするために現地を訪れた。事故発生から8年が経過し、記憶として薄らいでいたが、何ともいえない空気に包まれた中で、この事故を決して忘れてはいけないと感じた。

組織の課題について

労働者は、ひとりでは弱い存在であり、私たちは、JR九州に働く労働者の団結を図っていくことが重要である。自らの経済・社会的地位を維持・向上させ、働きやすい環境をつくるためには、多くの労働者が団結することが必要であるが、労使間のルールや協定関係の内容、協定化に至った経過など、組合員に十分に伝わっていない現状もあり、制度は会社が与えているものと思っている組合員も少なくはないのが実態だ。それは労働組合の存在意義が希薄化してしまっている。組合員はいろんな考えを持っており、組合に対する感情も大きく、一つにまとめることは大変だと思うが、組合員が自分の声を自由にいえる場

労働条件改善について

平成25年度の効率化施策等の概要が明らかになった。実施概要では、ただ単に人員削減にならないのか、組合員の理解と合意を前提に、施策を十分に検討し対応しなければならぬ。また、組合の基盤本「協立」の対立、労働条件と安全サービスの低下を招かないことを前提に取り組みなければならぬ。

福岡地本は、その体制の一つとして組織機構の見直しについて検討してきた。現行、二つの南北地域協議会を廃止し、六つの常任幹事会、通称、支部を結成する。

代表者会議等で意思統一を行い、準備委員会で作業を進めているが、まだまだ主旨が十分に伝わっていないのが現状だ。次代を担う役員を育成していくうえで、分会が主体となった運動を行い、人材育成と組織の活性化を目的に、分会が主人公と言える組織体制を築いていくものであるから、支部の役員には苦勞をかけると思うが、組合の求心力を高めていくためにやりとけていく。

政治的政策課題と政治的取り組みについて

昨年の衆議院選挙と夏の参議院選挙で、民主党が大敗、多くの仲間が落選する結果となった。しかし、恒久化の取り組みや経営安定基金の取り扱いは、労使の枠を超えて、政治的に解決しなければならぬ多くの課題を抱えている。引き続き、恒久化の実現に向け、JR連合国会議員懇や地方議

員等との連携を深め取り組みを推進していかねばならない。今後の日本は、私たちが求める社会政策とは逆の方向へ進みかねないとの危惧を抱かざるを得ないし、具体的な形で国民の前に突きつけられてくるだろう。国会への発議要件を過半数とするため、憲法96条を改正し、憲法99条改正を含めた自民党改憲草案の実現へ乗り出しているのではないだろうか。参議院選挙の大敗という結果により、第一のハードルが越えられ、改憲の発議が行なわれれば、第二のハードルの国民投票で止めることが重要である。これに様々な意見があるだろうが、改憲を許さない為には意識を高めるよう訴えておきたい。

最後に

専従書記長として、2年間、組合員から託されたことに対して、十分な対応ができていないことも多々あるだろう。組合員から信頼される役員として「私を信用してください」と、自信を持って言える役員を育てていかなければならない。

7月に開催された本部第22回定期大会で、専従1名、非専従執行委員1名減の12名の新任役員が選出された。福岡地本も専従1名減の3名、執行委員も減少した新執行体制を確立する予定だが、指導体制が低下してはならない。しっかりと任務分担を行って、体制を強化していく。

本日、提起した運動方針(案)に対して、地本・分会で具体的に活動していくことを決意し、方針(案)をはじめとする提起を満場一致で採択していただくことをお願いし、集約答弁とする。



徳田 哲也
前中央執行委員長



藤井 勉
退職者連絡会福岡地区本部 会長



西田 修三
福岡県交運労協 事務局長



高島 喜信
連合福岡会長



山城 正一
九州ろうきん福岡県本部長



越智 直樹
JR連合九州地協 副議長

ご来賓のみなさま
(順不同・敬称略)

- 九州ろうきん北九州東支店 支店長 中村 隆一
- 九州ろうきん博多支店 次長 藤本 祥司
- 交運共済九州事業本部 推進部長 渡辺 慶二
- 佐賀県議会議員 原 康彦
- 大牟田市議会議員 松尾 哲也
- 苅田町議会議員 井上 修
- 福岡市議会議員 田中 丈太郎
- 前北九州市議会議員 馬場 一榮
- 前北九州市議会議員 松永 政行
- 顧問 手嶋 秀昭
- 顧問 順 問
- 顧問 順 問
- 【JR九州労組中央本部】
- 中央執行委員長 芦原 秀己
- 書記長 中原 博徳
- 中央執行委員 木村 智隆
- 大久保 浩
- 住吉 一家
- 原川 朋大
- 原光 俊勝
- 中村 芽
- 青年・女性委員会 事務局長



許斐 元文
中央執行委員長



福田 博州
交運共済九州事業本部長



石松 和幸(田川市議)
福岡地本議員団会議 団長



祝電
メッセージ
(順不同・敬称略)

福岡県交運輸労協
議長 佐田 正二

全日本運輸産業福岡県連合
執行委員長 西田 修三

私鉄福岡県連絡協議会
議長 野田 正俊

北九州市交通局労働組合
執行委員長 大庭 広文

福岡県労働者支援事務所
所長 淵上 孝

日本貨物鉄道産業労働組合
北九州地区支部(貨物鉄道産労)
執行委員長 浜脇 修一

西日本旅客鉄道労働組合
福岡地本(西労組)
執行委員長 竹本 俊文

JR九州労組長崎地方本部
執行委員長 江副 敏彦

熊本地方本部
執行委員長 坂本 和哉

大分地方本部
執行委員長 玉井 成之

鹿児島地方本部
執行委員長 上野 真

ありがとうございました。

優秀分会に表彰状

JR九州労組は「分会の活性化」を目的に、1年間顕著な取り組みを行ってきた分会に対して表彰を行っており、最優秀分会と優秀分会に輝いた分会に表彰状が贈られました。

なお、最優秀分会の博多新幹線乗務所分会と唐津連合分会については、7月10、11日の本部定期大会のなかで表彰が行われており、優秀分会の社員研修センター分会、小倉運転区分会、南福岡運転区分会、博多駅連合分会、博多車掌区分会の5分会に対し、本定期大会のなかで表彰式を行いました。

【最優秀分会】(福岡地本関係分)

- 博多新幹線乗務所分会
- 唐津連合分会

【優秀分会】(福岡地本関係分)

- 社員研修センター分会
- 小倉運転区分会
- 南福岡運転区分会
- 博多車掌区分会
- 博多駅連合分会



社員研修センター分会



小倉運転区分会



南福岡運転区分会



博多車掌区分会



博多駅連合分会

おめでとうございます

岩永委員長ほか、新執行部決まる

福岡地本初の女性執行委員も

今大会は役員改選を迎えた大会であり、岩永康志委員長をはじめとする新しい執行部が選出されました。なかでも、福岡地方本部としては初めてとなる、女性執行委員が選出されるなど、女性が働きやすい職場環境づくりをはじめ、女性が参画しやすい組合活動の在り方など、今後の活躍に期待が持てるところです。

平成採用の役員にも期待
また、次世代を担う役員・活動家の育成が急務とす。

なご、新しい役員体制については、以下のとおりです。

なつている現状から、平成採用の若い役員も多く選出され、これからのJR九州労組の運動を継承していく中心的な存在となつていかなければなりません。

今後は、組織機構見直しにより、新しい支部体制を築いていくうえで、さらに強固な組織を造つていくためにも、地本、支部、分会が一体となつて、当面する諸課題の解決にむけて取り組んでいきましょう。

2013年度 福岡地方本部役員体制

役職	氏名	年齢	職場	専・非	記事
執行委員長	岩永 康志	56	事業開発本部不動産活用課	専	再任
執行副委員長	久保田耕二	53	久留米駅	専	再任
"	宇佐 学	57	JR九州メンテナンス(出向)	非	再任
"	木戸 幸生	52	小倉総合車両センター	非	再任
書記長	田頭 正憲	52	直方運輸センター	専	再任
執行委員	佐々倉勝弘	54	直方運輸センター	非	再任
"	西 賢治	53	小倉運転区	非	再任
"	高崎 克典	53	小倉総合車両センター	非	再任
"	馬場 浩志	52	北九州市(出向)	非	再任
"	徳永 誠一	38	運輸部車両課	非	再任
"	小山 麻希	34	旅行事業本部企画課	非	新任
"	花田 祐希	33	運行管理部輸送	非	新任
"	森永 克章	33	鳥栖駅	非	新任
"	河内 啓	30	門司車掌区	非	新任
会計監査員	寺園 守	54	小倉総合車両センター	非	新任
"	養父 克典	52	博多信号通信区	非	新任

専は専従、非は非専従